



- 日本選手権
- 国民体育大会
- ジャパンオープン
- クラブ選手権
- 全国大会 (令和7年度 全国中学校体育大会 第54回全国中学校ハンドボール大会)
- ブロック大会 ()
- 都道府県大会 ()

- 男子
- 女子
- 一般
- 学生
- 高校生
- 高専
- 中学生
- 小学生

公 式 記 録 用 紙

A

チームA 浦添市立仲西中学校 (沖縄)	チームB 宇土市立鶴城中学校 (熊本)
------------------------	------------------------

B

都道府県 沖縄県	市区町 豊見城市	会場 豊見城市民体育館	観客数	年月日 2025.8.25	回戦 決勝
-------------	-------------	----------------	-----	------------------	----------

前 半	A 12	B 16	最終結果	A 23	B 40	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mスロー コンテスト	A	B
-----	---------	---------	------	---------	---------	------	---	---	------	---	---	----------------	---	---

7m得点/総数	A T	チームタイムアウト	18:38	11:55	15:09	チームタイムアウト	B	7m得点/総数
---------	--------	-----------	-------	-------	-------	-----------	---	---------

背番号	チームA							背番号	チームB						
	G	W	2	2	D	DR		G	W	2	2	D	DR		
1	諸見里	一	華					1	那須	玲	衣				
3	下地	由	衣	正				2	後藤	柚	希	奈	正	正	
④	前田	愛	梨					3	齊藤	亜	希				
5	島袋	蘭	奈					4	中村	萌	香				
6	比嘉	優	月	香	正			5	坂本	真	優				
7	石川	奈	南	花	正			6	永守	彩	恵				
8	篠原	結	花					7	中野	恋	姫				
9	積	虹	美					8	八木	佑	歌				
10	西	穂	花					⑨	北野	枝	麻	正	正		
11	植田	み	う					10	松野	兔	萌				
12	新川	杏	奈					11	藤井	真	悠				
13	大田	千	紗	正				12	高田	結	生				
14	上間	夏	帆					13	平江	心	美	正			
15	村山	史	花					14	長谷河	萌	乃	歌			
16	玉城	双	葉					15	岩崎	璃	子				
A	濱里	季	楽					A	光	永	和	之			
B	平	良	麻	美				B	坂	本	光	世			
C	上	原	基	史											
D	仲	村	幸	一											

A 濱里季楽	チーム役員A 署名	B 光永和之
--------	-----------	--------

特記事項

レフエリ	知念 昌平	新垣 裕己	知念昌平	新垣裕己
TD	田中 智博	岡本 大典	田中智博	岡本大典
MO	本田 隆		本田隆	

得点(G)、警告(W)、退場(2)、失格(D)、報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合終了後、レフェリー、TD、オフィシャルのサイン入り報告書は原本(1枚)を日本協会に提出する。チームにはサインのない印刷した用紙を配布する。
 1枚目 主幹協会用 チーム責任者のサイン入り、試合前なのでその他の数値等は未記入。
 2枚目 日本協会提出用 すべての数値等を記入後オフィシャル・TDのサイン入り、全てを記載する。
 3、4枚目 両チーム用 チーム責任者、オフィシャル・TDのサインがない。必要であれば後刻サイン入りのコピーを配布してもよい。

令和7年度全国中学校体育大会 第54回全国中学校ハンドボール大会

A	宇土市立 鶴城中学校(熊本)		対戦チーム名	B	浦添市立 仲西中学校(沖縄)	
A 合 計	40	前半	16	-	12	前半
		後半	24	-	11	後半
		第1延長		-		第1延長
		第2延長		-		第2延長
		7mTC		-		7mTC
					23	B 合 計

地元の応援を背に仲西スローオフからゲームスタート。仲西10番西のポストシュートで先制。対する鶴城は、5番坂本の右サイドシュートから速攻を含む4連続得点。鶴城が畳みかけるように多様な攻めを見せるが、仲西2年生GK16番玉城が好セーブを連発。仲西13番大田・7番石川を中心に攻め立てるが、鶴城2番後藤のサイド・速攻等による得点を積み重ね鶴城4点リードで前半を折り返す。後半、鶴城が退場者を出すも得点力は衰えず2番後藤・3番齋藤の速攻を含む9連続得点。仲西も7番石川のカットインプレーで応戦するも及ばず、鶴城が春夏連覇を果たす。